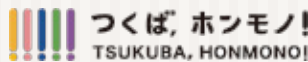




「PicoTR」の前で



株式会社ピコサーム 代表取締役

Kazuko Ishikawa 石川 佳寿子さん

常陸太田市生まれ。筑波大学第一学群自然科学類卒業後、NEC宇宙開発事業部に入社。その後、出版社や芸術センターでの企画・制作を経て産業技術総合研究所に入所。ベンチャー創業で株式会社ピコサーム代表として薄膜熱物性測定装置の開発・製造・販売及び受託計測・分析を行う。

つくばで輝く
女性研究者

「PicoTR」の前で

《計測技術で研究支援》
テレビやパソコン、携帯電話などで使われる薄膜に、ナノ秒（10億分の1秒）やピコ秒（1兆分の1秒）の高速パルスレーザーを照射し、熱物性値を高精度で測定する「NanoTR（PicoTR）」の開発・製造・販売および受託計測・分析サービスをを行う。産業総合技術研究所で開発したパルス光加熱サーモリフレクタンス法を元に2006年ベンチャー創業のタスクフォースプロジェクトを立ち上げ、製品開発に着手。小型化と低コスト化マーケティングなどの企画開発を進め、2008年にピ



オランダで開催されたIEEE会議で研究者と

研究開発を支える ベンチャー技術



女性研究者ネットワーク
[WIE]メンバーと

《好奇心と挑戦》
高校時代から宇宙に興味があり、筑波大学自然科学類では物理学を専攻。卒業後は日本初の人工衛星「おおすみ」を開発したNECに入社し、宇宙開発事業部で開発に携わった。その後、芸術に憧れてデザイン学校で

コサームを設立し代表に就いた。「電子機器の高集積化や高速化による発熱対策など新デバイス開発での熱マネージメントは重要で、欧米などからも依頼があります。未知の領域へ挑む研究開発支援にやりがいを感じています」と語る。

《つくばの暮らし》
大学時代をつくばで過ごした後、さまざまな地で経験を積み、つくば暮らしは約15年間。外国からの研究者も多いつくばで起業し、海外進出も視野に入れている。自身が所属する学会IEEE（アイ・トリプル・イー）では、女性技術者や研究者、学生の連携を支援するWIEの活動にも注力。「女性が開く未来のテクノロジーが楽しみです」と目を輝かせる。

アートを学び、出版社や芸術劇場で企画制作を経験。ニューヨークのジャパ・ン・サエティ勤務時には大好きなオペラを幾度となく鑑賞するなど趣味に没頭していたが、母の看病のため帰国。産業技術総合研究所に入所し、熱物性標準研究室で計測機器の開発に携わった。ニューヨークでは起業する人が多くて刺激を受け、日本人としてのアイデンティティも考えさせられた。日本人の強みは「ものづくり」であると感じて起業しました。